

医療法人財団荻窪病院 治験審査委員会 議事録

開催日時	西暦 2022 年 3 月 7 日 (月) 18:00 ~ 18:30
開催場所	医療法人財団荻窪病院 別館 4 階 研修室
出席委員	委員長：石井康宏 副委員長：河野亨 委員：川村勇人、倉澤正子、吉見猛、畠山知子、関野真市、田中弘幸、太田大三、成瀬健太郎、中村圭太、山田篤史

審 議 内 容	
	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>議題 1 レオファーマ株式会社の依頼による過去の tralokinumab 治験に参加したアトピー性皮膚炎患者を対象に tralokinumab の安全性及び有効性を評価する非盲検、単一群、多施設共同長期延長試験-ECZTEND</p> <p>安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 治験に関する変更について当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 <u>審議結果：承認</u></p> <p>議題 2 ファイザー株式会社の依頼によるインヒビター保有および非保有の青年および成人の血友病患者を対象とした PF-06741086 定期投与第 3 相試験</p> <p>安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 <u>審議結果：承認</u></p> <p>議題 3 サノフィ株式会社の依頼による治療歴のある 12 歳以上の重症血友病 A 患者を対象とした遺伝子組換え血液凝固第 VIII 因子 Fc - フォンヴィレブランド因子 - XTEN 融合タンパク質 (rFVIIIFc-VWF-XTEN ; BIVV001) の安全性、有効性及び薬物動態を検討する非盲検多施設共同第 3 相試験</p> <p>安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 <u>審議結果：承認</u></p> <p>議題 4 治療歴のある重症血友病 A 患者を対象とした遺伝子組換え血液凝固第 VIII 因子 Fc - フォンヴィレブランド因子 - XTEN 融合タンパク質 (rFVIIIFc-VWF-XTEN ; BIVV001) の長期安全性及び有効性を検討する第 III 相非盲検多施設共同試験</p> <p>安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 <u>審議結果：承認</u></p> <p>議題 5 ノボノルディスクファーマ株式会社の依頼による concizumab の予防治療における有効性及び安全性の検討</p>

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題6 ノボノルディスクファーマ株式会社の依頼によるインヒビターを保有しない血友病 A 及び B 患者を対象とした concizumab の予防治療における有効性及び安全性の検討

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題7 ノボノルディスクファーマ株式会社の依頼による血液凝固第 VIII 因子インヒビターを保有する又は保有しない成人及び青年血友病 A 患者を対象とした NNC0365-3769 (Mim8) の有効性及び安全性を検討する国際共同、非盲検、無作為化、比較対照試験

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

治験に関する変更について当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題8 中外製薬株式会社の依頼による血友病 A 患者を対象としたエミシズマブの第 IV 相試験

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

#### 【報告事項】

報告 1 ノボ ノルディスクファーマ株式会社の依頼による日常臨床診療下での治療を受けている血友病 A 及び B 患者（インヒビターの有無を問わない）を対象とした、前向き、国際共同、非介入試験

治験の終了について報告がされた。

報告 2 ノボノルディスクファーマ株式会社の依頼による concizumab の予防治療における有効性及び安全性の検討

治験に関する変更について報告がされた。

（西暦 2022 年 2 月 18 日迅速審査実施、西暦 2022 年 2 月 21 日承認）

報告3 ファイザー株式会社の依頼による日本人成人の慢性腰痛症患者を対象とした Tanezumab の第 3 相試験

開発中止に関する報告がされた。

報告 4 武田薬品工業株式会社の依頼による子宮内膜症の治療における、TAK-385 (10mg、20mg、40 mg) のプラセボ対照第 2 相試験/第 2 相長期継続投与試験

効能追加の承認取得について報告がされた。

特記事項	
------	--